

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立住之江中学校

令和 7 年 4 月

大阪市立住之江中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

過去の大きな荒れの状態を経て、学校全体が落ち着きを取り戻し、様々な学校行事において、生徒が主体的に取り組み、いきいきと活躍する姿に保護者・地域の方々から高い評価を得ることができている。

しかしながら、学力面においては各種調査や共通テストにおいて、府や市の平均に満たない結果となっている。教員は工夫を凝らした授業を行い、生徒の興味関心を高める指導方法を展開しており、多くの生徒が授業に積極的に参加し、グループ学習等においても活発に意見交換を行っている。引き続き、授業規律の維持と生徒に適した指導方法の工夫改善に取り組むことで、数値としても学力の向上を確認できるようにする。

全国体力・運動能力・運動習慣等調査においては、例年、男女とも体力合計点が全国平均を上回る結果である。今後は、強みを維持しつつ、弱点克服に向けた取り組みを実施して総合的な体力向上に努める。

本校における課題としては『基本的生活習慣の育成・定着』、『学力向上』、『不登校生徒への支援の充実』があげられる。学力向上を図るため、平成30年度より「大阪市教育センター研究指定校」を申請し、リーディングスキルテストによる分析をふまえたカリキュラム・マネジメントの研究に取り組み、今年度も引き続き研究を進める。

また、ICT機器の活用や習熟度別教室を整備し、有効活用を図る。班活動を様々な取組の中心に位置付け、学習活動やキャリア教育、多様な体験活動の中で、互いを思いやる心や仲間を大切にする心を育てることで、学年・学級集団の質を高め、いじめの防止や新規不登校生徒を生まない集団作りを進める。生徒の自己肯定感の向上と学習に対する生徒個々の“関心”“意欲”のみならず、集団として学習に取り組む雰囲気醸成する学級・学年・学校づくりも進める。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、令和3年度より10%上昇させる。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を71%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の校内調査の「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を35%以上にする。
- ・令和7年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を40%以上にする。
- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を前年度以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度末校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を100%以上にする。
- ・令和7年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を90%以上にする。
- ・令和7年度校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を76.5%以上にする。

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度末校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度末校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。
- ・令和7年度末校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、令和3年度より10%上昇させる。
- ・令和7年度末校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を71%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を35%以上にする。
- ・大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を40%以上にする。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を前年度以上にする。
- ・年度末教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- ・年度末校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を100%以上にする。
- ・年度末校内調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を76.5%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

(様式2)

大阪市立住之江中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>(最重要目標1 安全・安心な教育の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。(R6 68.6%) 令和7年度末校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。(R6 72.5%) 令和7年度末校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、令和3年度より10%上昇させる。(R6 7.2%) 令和7年度末校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を71%以上にする。(R6 57.7%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】(生活指導部)</p> <p>施策1-1 いじめ・不登校への対応</p> <p>○いじめの未然防止・早期発見・早期対応のために、いじめ・不登校対策委員会を実施する。各生徒の状況を全教職員で共通理解し、速やかに適切な対策を講じる。</p> <hr/> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員アンケートにおいて、「大阪市いじめ対策基本方針」「学校いじめ防止基方針」の内容について理解していると答える教職員を100%にする。(R6 97.1%) 学校評価アンケートにおいて「先生は、いろいろな相談にのってくれる。相談しやすい雰囲気がある。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を前年度以上にする。(R6 84.0%) いじめ不登校対策委員会を年3回以上実施し、全教職員で情報を共有する。保護者とともに連携しながら不登校の改善に努める。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】(キャリア教育)</p> <p>施策2-2 キャリア教育の充実</p> <p>○自分の将来を見据え、社会的・職業的自立に向けた職業観や勤労観を身につけさせるため「職場体験学習」を実施する。</p> <hr/> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験実施後のアンケートにおいて「この体験は有意義だった」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を90%以上にする。(R6 97.0%) 	

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】(多文化共生教育)

施策 2-6 多文化共生教育の推進

- ・全ての生徒が違いを違いとして認め、人権を尊重し、ともに生きようとする姿勢を育む。
- ・生徒に差別を見抜く力を養い、民族的偏見や差別をなくしていこうとする意欲と態度を育む。
- ・外国にルーツをもつ生徒がそれぞれの自分のルーツを知り、そのルーツを前向きにとらえ、自らの民族的アイデンティティを大切にした生き方を育む。

指 標

- ・国際クラブの活動において、校外の民族交流会・音楽会への参加や、校内における文化発表会の参加を行う。
- ・朝文研での活動が円滑に行われるよう、毎週金曜の放課後に活動時間の確保に努める。
- ・国際クラブの活動を1学期は5回、2学期は10回、3学期は5回を目標とし、校外での活動も含め、年間20時間以上の活動時間を確保する。
- ・本名を呼び名乗る集団作りをすすめるために、年間指導計画のもと、年間2回以上の国際理解教育を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

来年度への改善点

大阪市立住之江中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を 35%以上にする。(R6 47.2%) ・大阪市英語力調査の中学校卒業段階での CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を 40%以上にする。(R6 53.8%) ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を前年度以上にする。(R6 男子 62.2% 女子 45.2%) ・年度末教職員アンケートにおける「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を 90%以上にする。(R6 94.3%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(教務部)</p> <p>施策 4-2「主体的・対話的な深い学び」の推進</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの研究・研鑽を全教科で展開するなど、「学び合い」を指導の主眼においた活動を教科指導に取り入れる。また、日々の教育活動全般においては、「班活動」を教科指導・学級経営の中心に据え、全体として取り組む。</p> <hr/> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートにおいて「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答える生徒の割合を前年度以上にする。(R6 年度 93.4%) 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(英語科)</p> <p>施策 4-3 英語教育の強化</p> <p>○グローバル化する社会を生きる子どもたちの可能性を広げるツールのとなる英語を、C-NET を積極的に活用し、語学力・会話力を向上させる。</p> <hr/> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 40%以上にする。(R6 53.8%) 	
<p>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】(教務部)</p> <p>○基礎学力・論理的思考能力を身につけさせる指導方法を研究するために、「リーディングスキルテスト」を活用し、生徒の基本的読解力について、その高低の要因を分析し指導にいかす。</p>	

<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業を年３回以上実施し、アンケートにおいて「生徒の学力向上のため授業改善に取り組んでいる」の項目について、肯定的に答える教員の割合を 90 以上にする。 (R6前期93.1%、後期100%) 	
<p>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】(保健体育科)</p> <p>施策 5-1</p> <p>○保健体育の授業において補強運動・柔軟運動の充実を図り、筋力および瞬発力の育成に努める。</p>	
<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査に準じた測定を実施し、男女とも２種目以上で最終実施年度の平均を上回るようにする。(R6 男子 5/8、女子 6/8) 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 5 健やかな体の育成】(学校給食委員会)</p> <p>施策 5-2</p> <p>○給食の残食を昨年度よりも減らすとともに、成長期の健やかな体の育成に必要不可欠な食の重要性を伝達し、個々の健康意識を高める指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育だよりを発行する中で、基本的な生活習慣の定着や、健康教育を推進する。 またアンケート等の健康保持増進に関する項目の肯定的な回答を 80%以上にする。 (R6 84.3%) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
来年度への改善点

大阪市立住之江中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 〔ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕 (R6 29.6%) 年度末校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を100%以上にする。 (R6 18.2%) 年度末校内調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を76.5%以上にする。 (R6 62.9%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 施策6-1</p> <p>○習熟度別少人数授業などの個に応じた教育を推進する。(国語・英語・理科)</p> <p>ICT機器の積極的な活用やデジタル教科書の特性を生かした授業に取り組むため、機器の管理・整備をすすめ、より効果的な活用を図る。</p> <hr/> <p>指 標</p> <p>・ICT機器を利用した授業を展開し、年間授業の30%以上の時間に利用する。の項目について、肯定的に答える教員の割合を85%以上にする。 (R6 94.1%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 施策7-1</p> <p>○教職員の長時間勤務解消を通じ、教員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができ、一人ひとり向き合う時間を確保することをめざす。</p> <hr/> <p>指 標</p> <p>・学校園における働き方改革推進プランに掲げる教員の勤務時間に関する基準1と基準2を満たす教員の割合をそれぞれ30%、50%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】(図書)</p> <p>施策8-1</p> <p>○図書館を有効に活用できる環境を整備し、読書に親しむ習慣や図書館活動を活性化させ、“生徒の学力の向上”及び“言語力の育成”を図る。</p> <hr/> <p>指 標</p> <p>・学校評価アンケートにおいて「読書は好きだ」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を65%以上にする。 (R6 62.9%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
来年度への改善点

3 本年度の自己評価結果の総括

--